

日本労働年鑑 1951年版(第23集)  
The Labour Year Book of Japan 1951

第二部 労働運動

第二編 労働組合運動

第七章 主要な労働組合の現状

日本映画演劇労働組合

日本映画演劇労働組合(日映演)  
(Japan Motionpicture and Theatrical Workers Unions: J. M. T. W.)

◇結成 一九四六年四月二八日

◇所在地 東京都港区芝新橋七の一二産別会館内 電話芝(43)三三〇五

◇加盟機関 産別 全労連

◇組織

〔支部名〕	〔組合数〕	〔組合員数〕
北海道支部	九	二二八
東北支部	四	三三三
東京支部	二四	四、〇一九
東海支部	一一	一、一四二
中部支部	四	四三八
京都支部	三	一、二〇九
大阪支部	一一	一、四五〇
中国支部	六	二三九
九州支部	六	三六六
計	七八	九、四二一

◇役員(第八回全国大会、四九年十一月一六日決定)

中央執行委員長 横田保(日本ニュース)

副中央執行委員長 古屋武(松竹)

同 古賀聖人(大映)

同 寺田昌業(東宝)

書記長 中野忠夫(松竹)

◇機関紙「映画演劇」旬刊

◇日映演は四八年に於いて東宝砧撮影所の争議を「企業整備と文化反動に対する闘争」として広汎に労働者、文化人、学生等を組織してたたかった。その後も、生活権を闘いとれ、労働者の権利をまもれ、映画演劇産業を守れをスローガンに苦闘して来たが、四九年の第八回全国大会では運動方針として(1)日常闘争の強化 (2)働くものの生活をまもり職場を民主化しよう (3)働くものの権利をまもり職場を民主化しよう (4)観客を組織し、映画演劇をまもろう等を決定し「闘いやすい組織をつくるために」地域支部を一部企業別支部に切かえることになった。

日本労働年鑑 第23集／1951年版

発行 1951年1月1日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年2月15日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1951年版(第23集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---